

# 令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：23003

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇札幌市共通指標の学ぶ力に関する調査結果より、学んだことを人に伝えようとする意識が、ここ数年は比較的高い水準で維持されていることが読み取れる。</p> <p>◇昨年度は、AARサイクルのうち、R（振り返り）に重点を置いた授業研究を行った。子どもの発達に応じた振り返りの在り方について考察を深めることができた。</p>	<p>◇札幌市共通指標の学ぶ力に関する調査結果より、協働的な学びに関すること、学んだことを生活に活用しようとする、自分の考えをもち文章に表現することの3点が前年度より下がったことが分かる。</p> <p>◇学力テストの結果から、定着度合いのばらつきが多いことが分かる。</p> <p>◇ICT 活用に関する調査結果より、各アプリケーションの特性を生かした活用法について職員で共通理解を図る必要性を感じている。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市共通指標の相互承認に関わる調査結果より、「2. 人のよいところを見付けようとしている」について肯定的な回答をした子どもの割合が、前年度と比較してやや落ち込んでいることから、子どもたちが協働しながら多様性を認め合う場について検討する必要性を感じる。一方、それ以外の項目については、前年度から比較的高水準を保っていることから、これまでに成果が出た取り組みについては継続の方向で考えていきたい。</p>	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
自ら学ぶに向かう力	
課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
<p>◇子どもの実態に沿う重点を設定した授業研究（重点の候補）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの探究意欲を引き出す単元構成</li> <li>・自己選択や自己決定の余地がある活動構成</li> <li>・他者との対話を通して、個々の学びが広がり深まる場の設定</li> <li>・協働的な学びを支える教師の関わり</li> <li>・学びをつなぐ振り返り</li> </ul>	<p>◇学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会 ・係活動 ・当番活動</li> </ul> <p>◇児童会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的な活動を支える教師の関わり</li> <li>・AARサイクルを基にした活動構成</li> </ul> <p>◇異学年交流活動「キラニコ活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢が異なる他者との関わりの中で、自分や他人の良さについて実感できるようにする</li> </ul>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
<p>◇ICT研修の実施</p> <p>「授業における効果的な活用」や「生成AI利活用の始め方」について、年間3回にわたる研修を行い、教職員の活用能力向上を図る。</p>	

<本プログラムの実行に向けて>

<p>新年度</p> <p>◇本プログラムの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議</li> <li>・研究全体会</li> </ul>	<p>一人一人の教職員</p> <p>◇日常の授業・教育活動の工夫</p> <p>◇各自の研修</p> <p>（札幌教研・校内研修・年次研修等）</p>	<p>学校全体</p> <p>◇研究授業</p> <p>→各担任1本以上の授業公開</p> <p>◇子どもの育ちの共有</p>	<p>次年度へ</p> <p>◇学校評価</p> <p>◇成果と課題の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会</li> </ul>
--	--	---	--